

平和について



狛江第三小学校 六年一組

瀬 堀 紗 里

今、日本は、戦争もなく平和です。でも、外国は、戦争をしています。戦争は、とてもおそろしいのに、なぜむかしの人は、こんなおそろしいことをしたのでしょうか。なぜ、関係のない人たちまでも、殺さなければならぬのでしょうか。

私はときどき戦争の映画をみにいきます。今は、平和ですが、また戦争になったらどうしようと思うこともあります。私は、日本人々が、戦争にならないように、努力をしなければいけないと思います。

私は、『はだしのゲン』の本をよんだことがあります。ゲンのお父さんは、戦争に反対しているのですが、みんなは、わかってくれません。戦争とは、どんなにおそろしいということを。私は、ゲンのお父さんがすごくいい人だと思いました。広島、長崎に、原子ばくだんがおとされて、とても、気の毒です。

今までみた映画は、『火の雨がふる』『夏ふくの少女たち』『とびうおのぼうや』などです。『つしま丸』『いくさばぬわらび』などです。片うでが、なくなっていたりして、とてもかわいそうです。今でも戦争のときにいた人や、お母さんのおなかの中にいた子は、がんや、はっけつびょうになっています。

これからは、ぜったいに戦争にならないように、日本人や世界の人が、仲よくしていかなければなりません。「戦争にむかうような小さな芽は、あるような気がする。」と、お母さんもいっています。私たちも、びんかんにそれをかんじとって、平和のためにできる、どんな小さなことでも、努力していきたいと思っています。そして、ほかの国も、平和になってほしいと思います。



ヒルガオ